

ワタアブラムシの殺虫剤感受性と防除効果

佐々木善隆

ワタアブラムシに対して効果の高い殺虫剤を探索しようとして研究を実施した。

食餌浸漬法で殺虫力を検定した場合、phosphate 型と phosphorothioate 型の各殺虫剤で高い殺虫力がみられた。phosphorodithioate 型の薬剤は thiometon, phenthoate や malathion のようにそれほど高くないものまでみられた。

phosphorothiolate 型の ESP, phosphorothioate, 型の EPN の殺虫力も低かったが phosphoroamidthioate 型の acephate の殺虫力は著しく低かった。

Endosulfan(有機塩素剤)と carbaryl(カーバメート剤)の殺虫力は高かったが pyrethrins のそれは低かった。

ポット植のナスに寄生した個体群に対して phenthoate, phormothion, carbaryl の効果が高かった。

ナスに散布した薬剤の残効期間は phenthoate, formothion, carbaryl と pyridaphention, tetradiphon 混合剤で長かったが dichlorvos と ESP のそれは短かった。

ポット植のナスに粒剤を土壌施用した場合 acephate の効果が高かった。

ナスほ場における防除試験の結果, formothion, dichlorvos, phenthoate と cyanophos で高い防除効果がみられた。